

# 平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	4 章 いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち（生涯学習・生涯スポーツ社会の構築）			
	施策（大柱）	3 節 青少年育成	H20 実施計画事業費合計	10,765 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
	中柱	1 地域・家庭・学校の連携による青少年育成		10,278 千円	
		2 青少年へのサポート体制の整備		487 千円	
				千円	
			千円		
施策に関係する所属	青少年課、社会教育課、学校教育課				

② 施策の概要	1) 基本方針及び施策の目的
	○「三つ葉の提言」をもとに、地域・家庭・学校が連携して、青少年の健全育成を進める。 ○青少年がいきいきと健やかに成長するよう、自然体験やボランティア活動などの青少年活動を充実する。 ○地域に青少年の居場所をつくるとともに、リーダーとなる青少年を育成する。
	2) 施策の具体的な内容及び実施方法
	○地域・家庭・学校の連携による青少年育成 地域・家庭・学校がその役割を再認識し、連携して青少年育成を推進する。また、青少年育成団体等への支援を行うとともに、青少年が健やかに育っていける地域環境づくりを、地域住民と協力しながら進めていく。 ○青少年へのサポート体制の整備 実際の体験を重視した青少年活動を充実し、青少年の「生きる力」をはぐくむとともに、放課後の居場所づくりを進める。また、地域づくりのリーダーとしての自覚を持った青少年を育成することとあわせ、各相談機関と連携し、相談・指導業務を充実します。
3) 分野別計画、指針	

③ 優先的に取り組む事業	4) 関連・類似施策				
	○3-2児童福祉 ○4-1生涯学習 ○4-2学校教育 ○4-4社会教育 ○4-6生涯スポーツ				
	5) 施策に対する市民ニーズ				
	『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。				
6) 施策に係る基礎数値					
	要望者数	要望率	全施策中順位	分野中順位	
	199 人	23.9 %	22 位	2 位	
	831 人		43 位	6 位	
	項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
	青少年育成団体数	団体	40	39	41
	校区子ども会	子ども会	24	24	24
	スポーツ大会参加者数	人	4,209	4,134	4,150
	青少年相談員	人	19	13	13
	中学生の児童館利用人数	人	7,165	6,864	5,767

③ 優先的に取り組む事業	事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標
※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画一中柱」に位置づけられたものが記入されます。								

④ 5年後の目標／成果指標	指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標		
	【5年後の目標】 “青少年の居場所”に対する満足度	青少年の健全育成のための「青少年の居場所づくり」の成果を示す指標	%	年度	目標値	51.3	53.5	55.6	57.8	60.0	年度	
				実績値						実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2	1	目標値
				達成率	49.1							60.0
	青少年育成活動参加者数	青少年の健全育成のための環境浄化活動、広報活動の参加者を示す指数	人	年度	目標値	1,286	1,314	1,343	1,371	1,400	年度	
				実績値	1,261	1,317				実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2	1	目標値
				達成率	1,257	98.1%	100.2%					1,400
	青少年育成リーダー養成人数	次世代を担う青少年リーダー養成の成果を示す指数	人	年度	目標値	228	234	239	245	250	年度	
				実績値	222	236				実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2	1	目標値
				達成率	223	97.4%	100.9%					250
		%	年度	目標値						年度		
			実績値						実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		目標値	
			達成率									

⑤ 平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み
「家庭の日」推進事業については、従来の作文募集と表彰式だけでなく、毎月第三日曜日（家庭の日）の前に庁内放送を行い周知を図った。また、「青少年問題協議会」にて「三つ葉の提言を進める市民の会」が発足し、一般公募委員・08を中心に「提言」の小冊子を作成し、市内公共機関・青少年健全育成関係団体・小中学校に配布した。

⑥ 評価（課題及び目標方向性）	1) 平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況				
	児童館利用人数は中学生に限らず減少していることから、青少年の居場所作りとしての児童館を地域において更にPRし、他の公共施設も含めて利用促進を図る。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	青少年の健全育成のための環境浄化活動事業、広報・啓発事業等市民参加による青少年育成事業は青少年を取り巻く事件等が多発していることもあり、市民の関心、取り組みに対する熱意も高まっている。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	青少年育成リーダー養成事業は異年令の青少年が集まれる児童館や公共施設があり、その中で自主的な事業に参加者は順調に推移しているが、更にリーダーを養成して行けるような環境作りを図る。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向	
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向	

2) 平成20年度における目標設定	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
3) 今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後は青少年健全育成を推進していくために地域・家庭・学校の連携が欠かせないことを再認識し、青少年問題協議会08等で構成される「三つ葉の提言を進める市民の会」を始めとして、青少年健全育成推進員、中学生のジュニア推進員等も交えて「三つ葉の提言」の普及・啓発に努めていく必要がある。</li> <li>・ 三者（地域・家庭・学校）による連携の充実については、今後も行政が中心となり、さらに協議、情報交換等を重ねそれぞれレベルアップを図っていく必要がある。</li> <li>・ 実際の体験を重視した青少年活動の充実を図り、その中でリーダーを養成していくには、地域・家庭・学校のそれぞれの中で、青少年が自ら考え、自ら進んで行動ができる場、活躍の場を確保し、親はもとより人との関わりを持ち、自分自身に自信がもてるような環境を整備していく必要がある。</li> </ul>		
評価日	平成20年8月5日	記入者職氏名	市民経済部青少年担当参事 若山 忠明